



## 湾岸・アラビア半島地域ニュース

### イラン：独・イラン経済関係の現状 (5月28日付ドイツ・ハンデルス・ブラット紙)

5月28日ドイツ主要経済紙ハンデルス・ブラットに、イランに対する国連制裁に反発するドイツ企業の動きについて、「制裁に反対するドイツ産業界」と題する記事が掲載されている。概要以下の通り。

- 1.メルケル首相が、ドイツ企業に対してイランでのビジネスから撤退するように圧力をかけている。ヘッセ (Hannes Hesse) ドイツ機械設備連盟 (VDMA) 会長は、「(イランの) 核問題の解決は、以前より遠ざかっているように見える。イランに対する制裁はますます自己目的化している。イランとの良好な経済関係が、何の役に立つのか分からない政策の犠牲になるのは非常にひどいことである」と述べた。ドイツ商工会議所連絡会 (DIHK) のような経済団体からも批判が挙っている。
- 2.他の国々は、イランでのビジネスを拡大しようとしている。サルコジ大統領がフランス企業に対して自制を求めたにもかかわらず、例えばシトロエンはテヘランで C4 の生産を開始した。匿名を希望する経済団体筋によれば、米国もイランとのビジネスを拡大した。米国からイランへの輸出は、昨年3億ユーロ増加し、一方ドイツの輸出は2007年に12.6%減少し、36億ユーロであった。2007年前半において、ドイツの輸出は前年比で19.8%下回っていたが、それ以降は再び大幅な増加に転じた。
- 3.VDMAによれば、ドイツ政府の対イラン輸出に関わる制限的政策により、ドイツの機械製造部門だけでも毎年の売上が40億ユーロ減少する。DIHKは、イランとのビジネスの中止により、ドイツ国内の1万人の雇用が危ういものとなるとみている。
- 4.欧州委員会によれば、近い将来、イランの大手メリ銀行も制裁の対象に含まれ、ハンブルク、ロンドン、アブダビ等に支店を持つ同銀行は、全ての外国口座が閉じられるとされている。EUのある外交官は、主な理由として、「メリ銀行がイランの軍事プログラムに出資していること」を挙げている。
- 5.他方、ドイツ政府関係筋は、メリ銀行を制裁リストに入れよう主張している。ドイツ連邦経済技術省は、「制裁リストに入るようなことがあれば、イラン(の企業)は支払い不能となり、(ヘルメス輸出信用がドイツ企業に対し保証を行うため)ドイツの予算から50億ユーロを(ヘルメス輸出信用に対して)拠出しなければならなくなるだろう」と述べている。

本「かわら版」の許可なき複製、転送、引用はご遠慮ください。

ご質問・お問合せ先 財団法人中東調査会 TEL:03-3371-5798、FAX:03-3371-5799